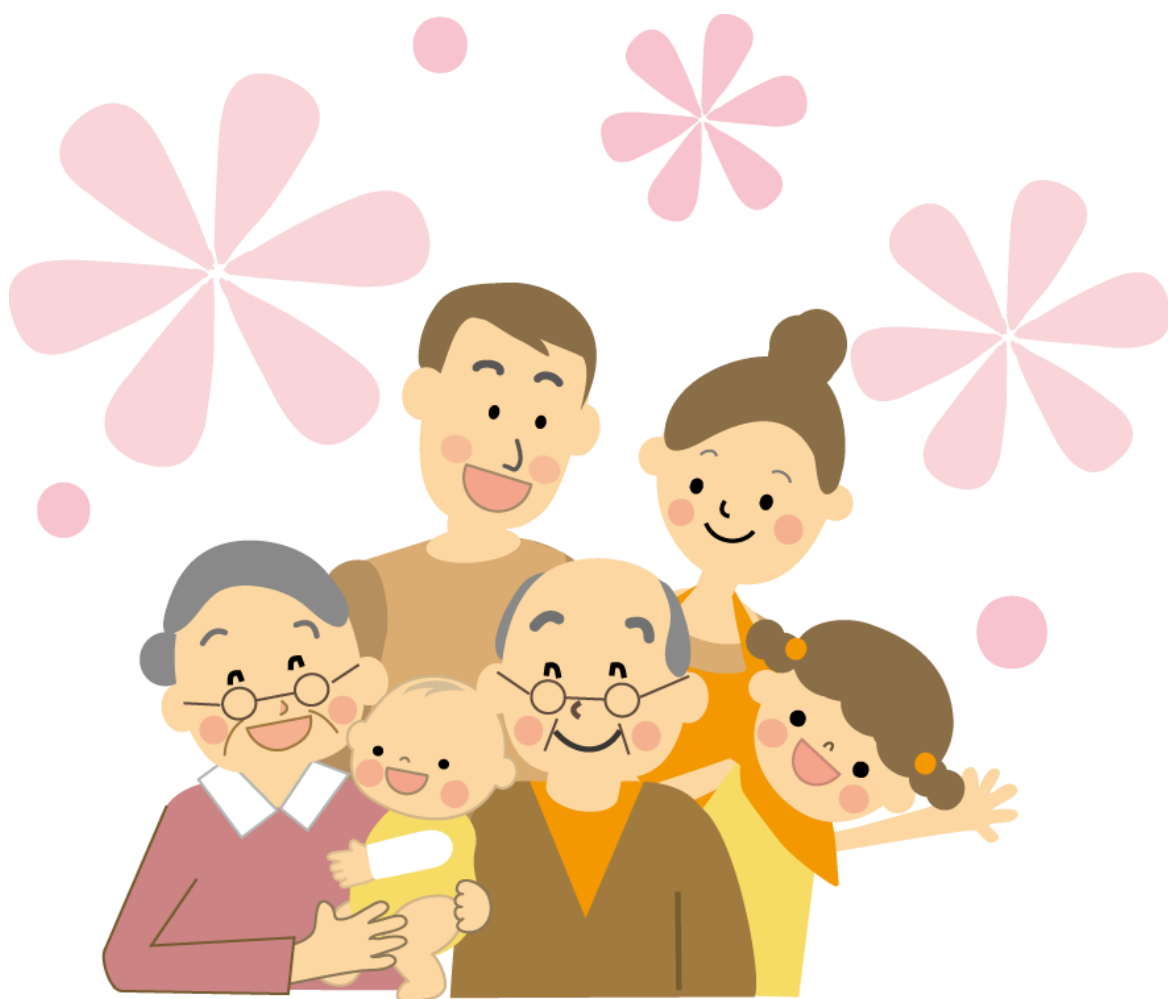


2023夏のボランティア体験事業

報告書



社会福祉法人高梁市社会福祉協議会

目 次

1. 夏のボランティア体験事業とは…	1 ページ
2. 2023 夏のボランティア体験事業について	
(1) 受入施設（福祉施設・団体）へボランティアの受け入れを依頼	1 ページ
(2) 生徒・学生の募集	2 ページ
(3) 事前研修会	4 ページ
(4) 体験活動	7 ページ
(5) 事後研修会	8 ページ
3. 施設からのコメント	19 ページ
○施設・団体ごとの感想	20 ページ

2023 夏のボランティア 体験事業 報告書

1. 夏のボランティア体験事業とは・・・

■目的 ボランティア活動の実体験を通して、社会福祉について理解を深めると共に、ボランティア活動に積極的に参加できるような環境作りを目的とする。

■対象者 ボランティア活動に関心のある市内に在住もしくは市内の中学校、高等学校、大学に通う生徒及び学生で、高梁市内での活動を希望する方

※事業への参加を希望する方は、次の研修会に参加しなければなりません。

▼事前研修会

ボランティア活動を実践していく上での心構え及び活動先との日程調整を行います。

▼事後研修会

ボランティア活動をより有意義なものにするため、活動を通じての感動・成果・悩みなどを仲間たちと分かち合う反省会を行います。

2. 2023 夏のボランティア体験事業

(1) 受入施設（福祉施設・団体）へボランティアの受け入れを依頼

今年度、受け入れを希望していただいた市内の高齢者・障害者・児童・医療・保健関係、ボランティア団体は【表1】のとおりです。

【表1】「受入希望施設一覧表」

No.	施設・団体名	区分	地域	備考
1	特別養護老人ホーム白和荘	高齢	高梁	
2	高齢者総合福祉施設ちかのり	高齢	高梁	
3	デイサービス「はなみずき」	高齢	高梁	
4	特別養護老人ホームグリーンヒル順正	高齢	高梁	
5	グループホームウェルネス津川	高齢	高梁	

6	高梁市有漢デイサービスセンター	高齢	有漢	
7	まつうらクリニックむつみの園	高齢	成羽	
8	グループホームびっちゅう	高齢	備中	
9	グループホームやすらぎ荘	高齢	備中	
10	たいようの丘	障害	高梁	
11	NPO 法人 color	障害	高梁	
12	NPO 法人発達支援ネットワーク つむぎ	障害	高梁	
13	就労継続支援 B 型事業所 光憂庵	障害	成羽	
14	障害者支援施設 かわかみ療護園	障害	川上	
15	高梁市立高梁保育園	児童	高梁	
16	高梁中央保育園	児童	高梁	
17	落合保育園	児童	高梁	
18	高梁市立有漢こども園	児童	有漢	
19	高梁市立川上こども園	児童	川上	
20	富家学童保育	児童	備中	
21	備中保育園	児童	備中	
22	たんぼぼ会	VO	高梁	
23	高梁市手話ボランティアの会	VO	高梁	
24	おとづれ会	VO	高梁	
25	高梁市社会福祉協議会（ふれあい福祉講座）	VO	高梁	
26	うかん気楽会（通所ボランティアきらり）	VO	有漢	

※区分 高齢…高齢者関係の施設 障害…障害者関係の施設 児童…児童関係の施設 VO…ボランティア団体

（2）生徒・学生の募集

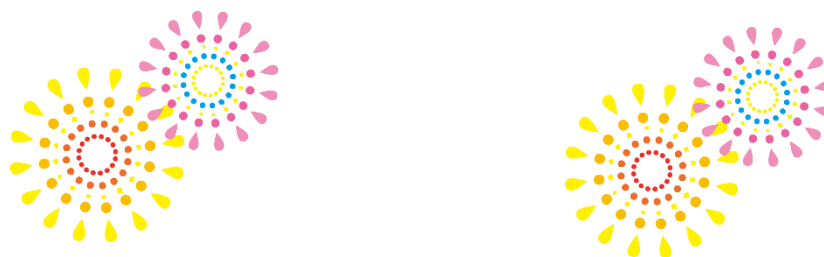
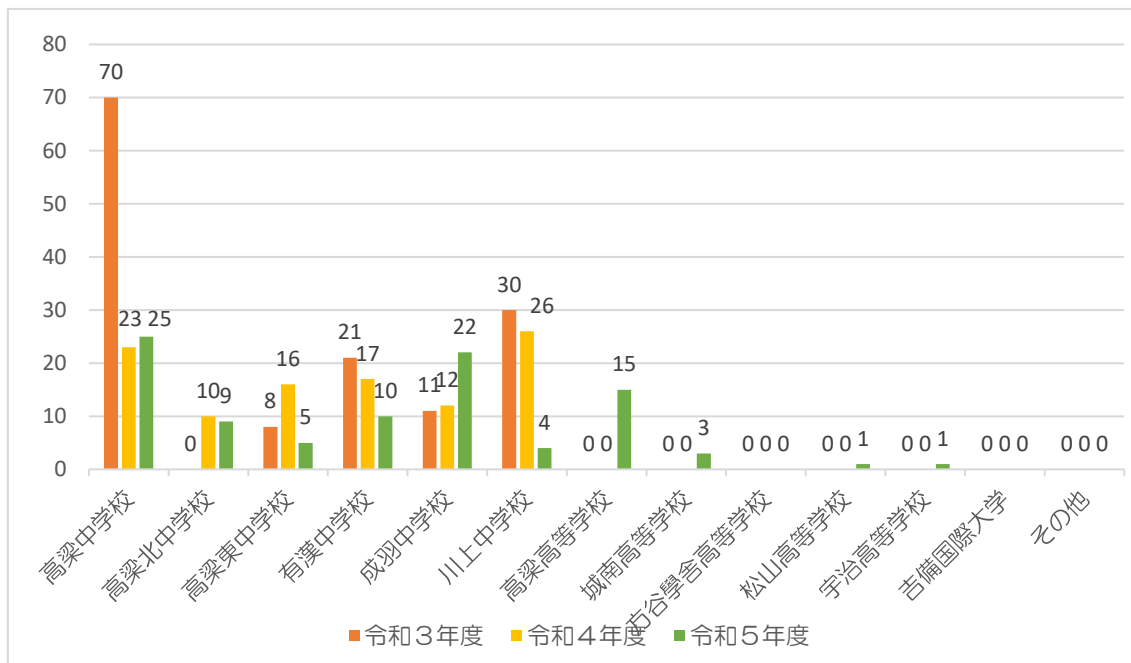
高梁市社会福祉協議会のホームページ及び、【表2】【表3】にある市内の中学校・高等学校・大学を対象にボランティアを募集したところ、中学生・高校生123人の参加希望がありました。

【表2】「学校一覧表及び参加者年度別比較表」

(単位：人)

NO	学 校 名	令和5年度 (A)		令和4年度 (B)		前年度比較 (A-B)	
		希望者	参加者	希望者	参加者	希望者	参加者
1	高梁市立高梁中学校	31	25	27	23	4	2
2	高梁市立高梁北中学校	6	6	16	16	-10	-10
3	高梁市立高梁東中学校	8	7	10	10	-2	-3
4	高梁市立有漢中学校	7	7	19	17	-12	-10
5	高梁市立成羽中学校	26	18	13	12	13	6
6	高梁市立川上中学校	12	11	26	26	-14	-15
7	岡山県立高梁高等学校	28	23	0	0	28	23
8	岡山県立高梁城南高等学校	3	3	9	0	-6	3
9	方谷學舎高等学校	0	0	1	0	-1	0
10	高梁市立松山高等学校	1	1	0	0	1	1
11	高梁市立宇治高等学校	1	1	1	0	0	1
12	吉備国際大学	0	0	0	0	0	0
13	その他	0	0	0	0	0	0
合 計		123	102	122	104	1	-2

【表3】「夏のボランティア体験事業参加者年度別推移」



(3) 事前研修会

令和5年7月22日（土）、高梁総合福祉センターで事前研修会を開催し、市内の中学生・高校生102人の参加がありました。

参加者は、ボランティア活動を行う上でのマナーや心構えについて学んだ後、希望する施設やボランティア団体の方と活動の詳細について打ち合わせを行いました。

なお、参加者は【表4】にある市内の高齢者施設等19施設・5団体で活動を行いました。

【表4】「活動先と活動希望・決定施設一覧表」

(単位：人)

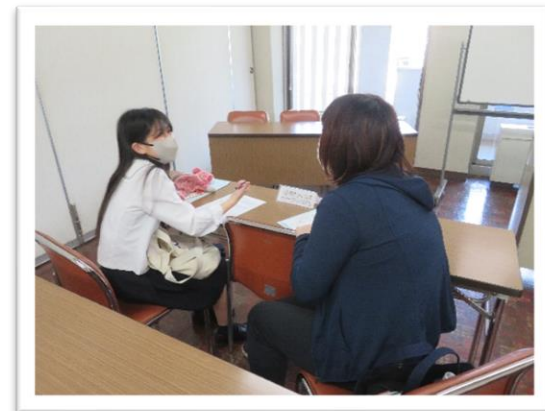
番号	施設名	第1希望	決定
1	特別養護老人ホーム白和荘	2	2
2	高齢者総合福祉施設ちかのり	4	3
3	デイサービス「はなみずき」	2	2
4	特別養護老人ホームグリーンヒル順正	4	3
5	グループホームウェルネス津川	2	2
6	まつうらクリニックむつみの園	4	2
7	就労継続支援B型事業所 光憂庵	2	2
8	グループホームやすらぎ荘	1	1
9	たいようの丘	5	5
10	NPO 法人 color	9	9
11	NPO 法人発達支援ネットワーク つむぎ	2	2
12	障害者支援施設 かわかみ療護園	3	3
13	高梁市立高梁保育園	17	15
14	高梁中央保育園	10	10
15	落合保育園	10	12
16	高梁市立有漢こども園	5	5
17	高梁市立川上こども園	6	4
18	富家学童保育	8	7
19	備中保育園	4	2
20	たんぼぼ会	1	1
21	高梁市手話ボランティアの会	14	14
22	おとづれ会	2	2
23	高梁市社会福祉協議会（ふれあい福祉講座）	4	3
24	うかん気楽会（通所ボランティアきらり）	2	2
合計		123	113

※決定数については、本会へ活動希望者調整用紙の提出があった数字を計上しています。
複数施設での活動も含めています。

☆事前研修会で学んだこと（一部を紹介）

- ボランティアをするにあたっての心構え、体調に気を付ける。
- 事業所ごとの活動を聞き、高梁市の福祉施設は様々なことをしているのだと知ることができた。
- 無理のないようにすることや一人で悩まないことなど大切なことを学ぶことができた。
- ボランティアは自分にとって多くの出会いが待っているということが分かった。
- ボランティアでどのようなことを体験するかを学んだ。
- ボランティアは行動を自分で考えながら楽しんで行うこと。
- 何のためにボランティアをすることが分かった。

写真



(4) 体験活動

参加者は、7月から8月の夏休みの間、施設でのレクリエーションのお手伝いや夏祭りの手伝い、園児のお世話、環境整備などのボランティア活動を1日～4日間程度行いました。また、これらの活動を通じて、高齢者や園児、また施設の方々と交流を深めました。

活動中の様子



(5) 事後研修会

令和5年8月26日(土) 高梁総合福祉センターで事後研修会を開催し、ボランティアを終えた82名のボランティア(20名欠席)の参加がありました。参加者は、16グループに分かれ、活動中の悩みや喜びを仲間たちと分かち合うとともに、ボランティア体験活動中に立てた「目標」目標に対して「達成できたこと」「達成できなかったこと」をグループ内で話し合いました。また、グループで1つボランティア川柳を作成し、模造紙にまとめ発表しました。

そして、夏のボランティア体験事業の実施にあたりご協力いただいた受入施設の皆様からは、ボランティア活動についての認識や取り組み方について、貴重なご意見を頂きました。

(参考)【表5】「2023夏のボランティア体験事業におけるご意見」

- 資料1 ボランティア活動中に立てた「目標」
目標に対して「達成できたこと」
目標に対して「達成できなかったこと」
- 資料2 「みんなが考えたボランティア川柳」
- 資料3 「ボランティアを通してもっとできるようになったこと、新しくできるようになったこと」

【表5】「2023夏のボランティア体験事業におけるご意見」

	課題とその内容
1	●ボランティア活動中の連絡について ボランティア活動中に、台風が接近した日があり、活動中止や送迎の相談をするために家族へ連絡するもつながらなかった。緊急の場合もあるので、できるだけつながる連絡先を教えてください。
2	●夏のボランティア体験事業の開催期間について 夏のボランティア期間中は、暑い日も多く、台風の影響や部活動の大会などもあり、活動できる日数が限られるため、期間を延ばしてほしい。
3	●ボランティア活動について 数名の学生が控室で騒いでいるときがあった。
4	●事前研修会の日程について 事前研修会の日程をもう少し早くすれば、7月中にも活動できるのではないか。

写真



資料 1

ボランティア活動に立てた「目標」 目標に対して「達成できたこと」 「達成できなかったこと」

目標

- ・色々な人に大きな声で挨拶をする。
- ・いろいろな人と話をする。
- ・手話で会話することができる。
- ・通院している方々にどのような接し方をすると笑顔になるのか。
- ・分からなかったらすぐに聞く。
- ・積極的に行動する。
- ・利用者の方に失礼のないように行動する。
- ・利用者の方とコミュニケーションを取りながら作業する。
- ・お年寄りの方とできるだけお話をする。
- ・初対面でも親しんでもらえるようにする。
- ・笑顔で自分から積極的にコミュニケーションをとる。
- ・自分から進んで出来ることを探し、活動すること。
- ・みんなと一緒に楽しく遊んだり、積極的に動くこと。
- ・優しく接し、園児みんなが楽しめるようにする。
- ・手話を一目見て伝えられるように身振り手振りや表情、声の大きさを意識する。
- ・今までに習った手話や手話をするうえで大切なことができる。
- ・作業をてきぱきする。
- ・保育士の手伝いを自ら進んでする。
- ・集中して取り組む。
- ・仲良くなって思いっきり楽しむ。
- ・任された仕事は責任を持つ。
- ・怖がらせないように目線を合わせる。
- ・話すときは大きな声ではきはきと聞こえやすいように。
- ・障害者の生活やその人たちを支援する人の仕事を知る。

- みんなと楽しく過ごし、しっかりこの仕事の大変さを分かるようにする。
- 積極的に仕事を手伝う。
- どんなことをしているか知る。
- 子どもたちとコミュニケーションを取りながら慣れて行ってもらおう。
- 施設の人の迷惑にならないようにする。
- 与えられた仕事を最後まで行う。
- 保育園の子たちをしっかりと面倒を見ること。
- あいさつを欠かさないようにする。
- 自分の中で考え整理しながらボランティアをする（なぜこうするのか、何が適切かなど）
- 誰に対しても優しく平等に接する。
- 子供たちが危ないことをしていたら、ちゃんと注意すること。
- 「つむぎ」の仕事を通じて、先生方の考え方を知り、今後の自分に活かして行こう。
- 一人の先生として子どもたちと接するよう頑張ろう。
- 一人一人の子供に様々な対応ができるよう頑張る。
- 相手の人と積極的に話をしたり、楽しく過ごす。
- 手話について学びを深め、世の中に広げればいいのかを考える。
- 習ったことを実際に使って会話すること。

達成できたこと

- 自分の名前や家族紹介ができるようになった。（簡単な手話は覚えられた）
- 保育園の人やボランティアに来られた人に挨拶できた。
- 自己紹介をすることが出来るようになった。
- 通院している方々を笑顔にすることができた。
- あいさつは欠かさずすることができた。
- 園児と積極的に触れ合ったりすることができた。
- 積極的に行動することができた。
- 分からないことはきちんと聞くことができた。
- はじめに教わった注意事項を意識しながら活動に臨めた。
- 楽しんで活動。
- わからないことがあれば、丁寧に聞いた。
- 子供が少し苦手だったけど、お世話は楽しくて苦手が少し和らいた。
- 何か手伝いましょうかと積極的に話したこと。
- 周りをよく見て自分で探した。
- ちゃんとしていいことと悪いことを見分けること。

- はじめは、とても緊張してうまく話せなかったが、だんだんと上手に話すことができるようになった。
- 親しんでもらいやすく、積極的に話かけることができた。
- 全員の前で自己紹介を行ったり、分からない単語を尋ねたりと積極的に活動することができた。
- 1回目の夏ボウの時よりも、色々な種類（単語）の手話を覚えることができた。
- 手話がかかれている教科書を見ずに手話をすることができた。
- 作業をてきぱきして、施設の人の話をよく聞いた。
- 年齢や個人ごとにすべき対応が違うことを知ること。
- 1つのことに集中して取り組めたこと。
- 困っている子供がいたら声をかけたりして、1人にならないようにすること。
- 目線を合わせること。
- 最初よりかは、幼児とのふれあいに慣れ、たくさん話すことができた。
- 何かを作成する時間で子供たちと一緒にアイデアを出したり、ふれあうことができた。
- 支援する人が利用者さんたちのためにしていること、大事にしていることが分かった。
- 言われたこと、与えられた仕事を最後まで行えた。
- 話しかけやすい方のみになったが、コミュニケーションをとることができた。
- 上手に寝かしつけること。
- よく話を聞いて正しく動くことができた。
- 手話で会話をすることができるようになった。
- 思いやりの気持ちを持つ。
- 楽しく相手と話すこと、いろいろなことを相手の人とすることができた。
- 手話があることによって、障害のある方がどのように助かっているかが理解できた。実際に手話言ふれて覚えることの難しさ、世の中へどう広めるべきか考えた。
- 手話を楽しむことができた。
- 手話を覚えて友達と簡単な会話をしたり、発表することができた。
- 時間、礼儀、感謝の気持ちまできちんとする。
- 体験の場所に慣れた。
- 自分からはなすことができた。
- 習ったいろいろな手話を覚えることができた。
- どんな人にでも笑顔で接する。
- 手話を少しでも覚えることができた。
- 「手話をこれからも続けていく」という心を持つことができた。

達成できなかったこと

- あいさつするだけであまり話ができなかった。
- 会話までできなかった。
- 通院している人と深い話ができなかった。
- 自分がしなければいけないことが終わった後何をすればいいのか聞くことができなかった。
- 大きな声で返事や挨拶があまりできなかった。
- 一部の職員の方としかお話をすることができなかった。
- やらないといけないことを見つけて動くことはあまりできなかった。(言われてから動くことが多かった。)
- その場所の方達の話の自分からあまり聞けなかった。
- 何をしたらいいのかわからず、おどおどしてしまった。
- あまりてきぱきと動くことはできなかった。
- 向こうから話題を振って頂いたことが多かった。
- 園児たちが言い争いを始めた時、先生のようにすぐに仲介に入ることができなかった。
- 初日は緊張してしまい、交流がなかなかうまくできなかった。
- 手話は覚えられたが、顔の表情や体全体を使って伝えることができなかった。
- 利用者さんと一緒に作業していく上でコミュニケーションをとることができなかった。
- 自分で考えて、保育士の手伝いをする事ができなかった。言われてから行動になってしまった。
- きちんと周りを見て行動すること。
- 平等に遊んであげること。
- 1回も話せてない子供もいる。
- 0才のことの会話をどんなふうにすればいいのかわからなかった。自分から
- 先生の仕事を手伝うことができなかった。
- 遊びや会話などをもう少しできたらよかった。
- 赤ちゃんにご飯を上手に食べさせる。
- やることが終わった時間が余った時、臨機応変に対応できなかった。
- 「事前に学ぶ」が出来ておらず、分からないことが多かった。
- 一人一人に合った対応を考えて行動しようとしたがかえって相手を不安にさせてしまった。
- 簡単な手話から応用させて、表現したり、分からない所を聞いたりすること。
- 相手から話しかけてくださる人が多く、自分から積極的に話することができなかった。

みんなが考えた

～ボランティア川柳～

<p>ボランティア 次の世代に しなげよう</p>	<p>ボランティア やればやるほど 達成感</p>	<p>役に立つ この世のために 出来ること</p>
<p>達成感 笑顔が増えた ボランティア</p>	<p>ボランティア 嬉しい瞬間 ありがとう</p>	<p>ボランティア 人との繋がりが 深めてく</p>

知ることで

笑顔広がる

ボランティア

ボランティア

初体験で

初知識

ボランティア

学んだことを

将来に

暑い夏

僕ら負けずに

ボランティア

ありがとう

言われて広がる

笑顔の輪

助け合い

笑顔が絶えない

高梁市

ボランティア

思いやりを持ち

自ら動く

助け合い

笑顔あふれる

ボランティア

たのしいな

またやりたいな

ボランティア

関わり合い

それぞれの未来へ

ボランティア

子供たち

にこにこ笑顔で

幸せだ

ととのいました！



資料3

ボランティアを通して、

「もっとできるようになったこと」

「新しくできるようになったこと」

- 手話で挨拶ができる。
- 出会った人には必ず挨拶をする。
- 自分から積極的に行動できる。
- 手話で自己紹介することができる。
- 人のために積極的に動くことができる。
- 大きな声であいさつができる。
- わからないことはきちんと周りの人達に気ことができるようになった。
- 教わったことを忠実に受け、人見知りをせず、初対面でも誰とでも話せる。
- 普段、あまり関わらない大人とのコミュニケーションが分からなかったけど、ボランティアを通して、少し関わり方が分かった。
- 周りをよく見ること。
- 子供たちが本やおもちゃの取り合いをしていたから、「違う本を読もうね」や違うおもちゃで「遊ぼうね」などの声かけができるようになった。
- 自分から話すことがもっとできるようになった。
- 笑顔を大切にした。
- やることがわかっていたら自分で考えた工夫を入れることを積極的にできた。
- たくさんの職員さんやお年寄りの方たちに自分から挨拶をすることができた。
- 小さい子とコミュニケーションをとる。
- 感謝の言葉は忘れず伝えること。
- 一緒にボランティア活動をした人とも、仲良くなることができた。
- 今、自分に何が出来るのかを見つけ出し、その見つけ出したことを行動に移すこと。
- 子ども同士で喧嘩をした時の対応や教育の仕方。
- 子どもたちの年齢別の対応の仕方。
- 色々な人に挨拶をすることができるようになった。また、耳の聞こえない方にも挨拶できるように手話を覚えた。
- 言葉の大切さを知れた。

- 大勢の人のことを考えれるようになった。
- 時間をこまめに見て行動できるようになった。
- 覚えた手話の数が増えた。
- 周りに合わせて、相手に合わせて会話ができた。
- 画用紙を使っの作業が得意になった。
- 保育士の大変なことや楽しいこと、うれしいことなど体験できた気がする。
- 人と話す楽しさを学べた。
- 絵本の読み聞かせをした時に子どもたちが聞き取りやすくゆっくり読めた。
- 高齢者の方の中には、いろんな方がおられるので、大きな声で話したり、体を支えたりするなどの接し方を意識することができる。
- どんな方と触れ合うときでも安全に気をつけて行動することができる。
- 外の部活をしているから、まちの人に挨拶をしっかりとできること。
- 困っていたら、自分から手伝うことができる。
- 子どもたちにどんなことをしたら喜ぶのか考えることができるようになった。
- やり方を1回教えてもらえると自分ですぐにできるようになったこと。
- 言われたことを最後までやり遂げられる。
- 緊張を乗り越えて、楽しむことができた。
- 自分が出来ることを行動に移す。
- 私は前まで人に積極的に声をかけたりすることが苦手だったけど、ボランティア活動を通して、前より得意になれたと思います。しかし、そこから話を広げることがまだ苦手なので、次はこれが得意になれるように頑張りたいと思います。
- ボランティア活動がとても楽しいと思えるようになった。
- 後片付けをきちんとする。
- 大きい声で発表したり、意見を言ったりすることができるようになった。
- ボランティア体験をして、疑問に思ったことを職員さんに教えてもらったり、自分で「なぜ？」と考えることができた。
- 手話体験を行ったとき、一つ一つの手話を自分の中の知識と結びつけて覚えることができた。
- 相手に思いやりの気持ちを持って、相手の気持ちや言動を理解できるようになった。
- 子どもたち同士で喧嘩しているときは、ちゃんと注意して動くことができた。
- 自分は積極的にいろんなことに挑戦できる。
- 人見知りだが、少し人見知りを直すことができた。
- 自分はお年寄りの方と多く関わったので、人より少しは話すことに慣れ、話せるようになった。

3. 施設・団体からのコメント（一部抜粋）

- 最初は緊張していたため、利用者とのコミュニケーションが難しい場面もあったが、だんだん、コミュニケーションを取れるようになっていきました。職員では気づけない目線での気づきがあったので、いい刺激になりました。
- 初めての活動で、緊張や戸惑いもあった様子だったが、時間経過とともに徐々に慣れていく様子が見られました。夏祭りを行い、スタッフとして参加をしてもらい、利用者と一緒に楽しみながらも職員がどのように関わっているのかも学ぶことができたのではないかと思います。
- 高齢者の方々とコミュニケーションをとるという目標に向かって、短い期間ながら、徐々に成長される姿を見せていただきました。良いかかわりを持って下さったおかげで、高齢者の方々からはいつも以上の笑顔も見られ「もう終わりなの？寂しい」など終了を惜しむ声も聞かれました。
- 毎日暑い中、子供たちのお世話や掃除、草取りなど嫌な顔一つせず気持ちよく動いて下さいました。いつも笑顔で対応してくれるみなさんから子供たちはたくさんの安心感をもらったことでしょう。今回ボランティアに参加されたように、これからも自分から進んでいろいろな活動に参加し、たくさんのかたを吸収してください。
- 劇の手伝いや受付の手伝いをしてもらった。特に受付では、大きな声であいさつが出来ていて、参加者も喜んでいて、3時間のみだったが、一生懸命ボランティアをしてくれてよかった。
- 地域の子供が地域の高齢者を支えるということが出来たのではないかと思います。また、終戦の日に合わせて、利用者から戦争の話も聞くこともできて、生徒にとっては貴重な体験になったのではないかと思います。生徒の感想で来年、再来年も参加したいと言ってきてよかったです。
- 1日目は、まだまだ緊張していた様子でしたが、2日目以降は、慣れてきて利用者とのコミュニケーションもしっかりとれていきました。利用者も若い人と関わることが出来て嬉しそうで、最後の日には、利用者から「明日以降も来て欲しい」という声もありました。

○施設・団体ごとの感想など

【高齢者総合福祉施設ちかのり】

■活動をする前の思い

（選んだ理由）

- ・高齢者と触れ合うことで新しい気づきがあると思ったから。
- ・高齢者の方と話をしてみたかったからです。
- ・あまり高齢者と関わったことがなかったため、とても興味を持ったから。

（活動先で頑張ること）

- ・高齢者に来てくれてよかったと思ってもらえるように手伝いだけでなく、話し合いなどのコミュニケーションをとること。
- ・高齢者の方とコミュニケーションをとることを頑張りたい。
- ・高齢者には笑顔で接することができるようになりたい。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・利用者の方とラジオ体操や言葉遊びをしたこと。
- ・利用者の方と話をしたこと。
- ・いろいろな話が出来て楽しかったです。

【特別養護老人ホーム グリーンヒル順正】

■活動をする前の思い

（選んだ理由）

- ・高齢者の方と触れ合ってみたいから。
- ・住んでいるところが近く、何度かイベントで行ったことがあるので、その時の印象を受け、興味を持ったから。

（活動先で頑張ること）

- ・積極的にコミュニケーションをとる。
- ・笑顔でいること。
- ・優しく接する。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・特別養護老人ホームとデイサービスセンターでの夏祭り。

【白和荘】

■活動をする前の思い

（選んだ理由）

- ・ボランティアに参加し、経験を増やしたかったから。
- ・夏祭りの準備などとても楽しそうだったため。

（活動先で頑張ること）

- ・いろいろな方と交流を深めることと、たくさんの経験をして、今後の生活に活かしていきます。気を付けることや大切なことを意識してボランティア活動に専念していきたいです。
- ・福祉の大学を目指しているので、利用者や支援者のお話をたくさん聞いて、福祉の理解を深めたい。
- ・普段、関わることのない方々と関わり新しい経験をしたい。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・夏祭りの飾りつけをしているときに利用者の方々が「ありがとう」と言ってくれたこと。

【介護付有料老人ホーム「さくらの苑」・デイサービス「はなみずき」】

■活動をする前の思い

（選んだ理由）

- ・高齢者と関わりたいから。

（活動先で頑張ること）

- ・笑顔で話しかける。
- ・楽しく活動をする。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・職員さんの手作りゲームがどれも楽しく面白かったのがすごく印象に残った。

【グループホーム ウェルネス津川】

■活動をする前の思い

（選んだ理由）

- ・認知症の人と関わってみたいと思ったから。

（活動先で頑張ること）

- ・マナーよく活動に参加することを頑張る。
- ・積極的に参加すること。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・一緒にご飯を食べたこと。
- ・大きな声を出さないと聞こえないときがあるので、大きな声で言ったり、繰り返し言ったりすることが大切だと分かった。

【たいようの丘】

■活動をする前の思い

（選んだ理由）

- ・仕事の大変さをしるため。
- ・障害者の方と交流してみたかった。
- ・どのような体験をするのか興味を持ったから。
- ・仕事の大変さを知りたかったから。
- ・介護の仕事に興味があったから。

（活動先で頑張ること）

- ・利用者とのコミュニケーション。
- ・なかなか障害者の方と交流する機会はないので、この交流を通して障害について知り、将来に役立てれるようにしっかり学びたい。
- ・自分から主体的に動くこと。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・行った時に笑顔で挨拶してくれたこと。
- ・一緒に作業したこと。
- ・利用者さんとコミュニケーションを取りながら作業したこと。

【NPO法人 Color】

■活動をする前の思い

(選んだ理由)

- 将来、福祉関係の仕事をしたと思っているから。
- 人とのかかわり方に興味があり、体験したいと思ったから。
- 障害者などを支援している事業所に興味があったから。
- 子どもと触れ合う体験をしたかったから。
- どんなことをしているのか学びたかったから。
- 支援が必要な方達とイベントやお話をして交流してみたかったから。
- 職場体験で行ったことがあり、もっと学びたいと思ったから。
- 興味があった。
- みずたまを利用したことがあるから。

(活動先で頑張ること)

- 自分で積極的にすることを見つけ行動したい。
- 明るく元気に利用者の方と接したい。
- 積極的に自分から行動できるように頑張りたい。
- 普段できないので、貴重な体験を大切にしたい。
- 障害者などの人の生活や苦勞を理解したい。
- マナーよく活動に参加することを頑張る。
- 積極的に参加すること。
- 笑顔で楽しく活動する。
- 仕事の大切さを知ること。
- 優しく話したりしたい。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- 一緒にゲームをしたこと
- 小さいことの距離感が難しかったけど、楽しく過ごすことが出来た。
- 働くことの大変さ
- 子供たちが「お姉ちゃん先生」と呼んでくれたこと。
- 子どものけんかを止めたこと。

【NPO法人 発達支援ネットワークつむぎ】

■活動をする前の思い

（選んだ理由）

- 弟がつむぎに通っていて、弟と楽しく弟にとって気楽に接することが出来るように成長した、学びたいと思ったから。
- 通っているからもっと知りたいと思った。

（活動先で頑張ること）

- つむぎに入っている人がどういう事をしているのか、どんなことをすれば喜ぶかなどを知る。
- 明るく楽しくみんなと接する。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- 「お兄ちゃん先生ずっといて」と子供に言われてとてもうれしかった。
- 一緒に遊べたこと。

【高梁市立高梁保育園】

■活動をする前の思い

（選んだ理由）

- 将来のため。
- 子どもと一緒に遊んだり、ふれ合ったりしてみたいと思ったから。
- ボランティアをしてみたかったから。
- 将来の夢が保育士だから。
- 子どもと触れ合うのが好きだから。
- 子どもとの接し方が知りたかったから。
- 子供たちの成長を手助けしたいから。

（活動先で頑張ること）

- 積極的に行動する。
- 子どもに優しく笑顔で接すること。
- 人と人とのつながりやコミュニケーション。
- 子どもたちが楽しめるようにしたいと思った。
- みんなが笑顔になるように頑張りたい。

- ・子どもたちが安心して遊べるように、常に集中して頑張りたい。
- ・挨拶を忘れないように。
- ・子どもとの上手な接し方を知る、言われたことをきちんと行う。
- ・保育とは何かを学ぶ。
- ・先生に言われたことは最後までやり抜く
- ・体調の管理。
- ・子どもたちとふれあい、一緒に生活していくことを大切にする。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・子どもと一緒に遊んだこと。
- ・職場体験の時とは違う視点で考えることができた。
- ・消毒した積み木を運んだら、指示とは違う場所に運んでしまったこと。
- ・小さい子たちが「先生」や「絵本読んで」などの声をかけてくれて、とてもうれしかった。
- ・小さい子のお世話をどのようにすればいいのかを学んだ。
- ・保育士の仕事についてどんなことをしているのか等が体験できたこと。

【高梁中央保育園】

■活動をする前の思い

（選んだ理由）

- ・子供が好きだから。
- ・職場体験で行ったことがあるから。
- ・教育関係のことを学んでみたかったから。
- ・将来の役に立つから。
- ・出身保育園だから。
- ・保育の仕事に興味があるから。

（活動先で頑張ること）

- ・自分から積極的に動くこと、挨拶すること。
- ・園児としっかり交流する。
- ・目を離さない。
- ・笑顔を大切に。
- ・たくさんの子供と話したい。
- ・園児との交流の仕方や、児童心理について理解を深める。
- ・保育のことをしっかりと学ぶこと。
- ・挨拶をしっかりすること。

- ・保育士がしていることを知る。
- ・優しく接する。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・子どもと関われたこと。
- ・将来に向けて役に立てることが出来ました。今後に活かしたいです。
- ・先生たちの場面ごとの対応などもとても勉強になった。
- ・子どもたちがたくさん声をかけてくれてうれしかった。
- ・子どもたちが「また来てね」と言って喜んでくれたこと。

【落合保育園】

■活動をする前の思い

（選んだ理由）

- ・小さい子供とたくさん遊んで楽しい1日を過ごしたいと思ったから。
- ・保育士の仕事を体験したいと思うから。
- ・小さなことに関わりたかったから。

（活動先で頑張ること）

- ・たくさんの人と交流を深めて楽しい1日にしたいです。
- ・優しい気持ちで子供に接する。
- ・自分から考えて行動すること。
- ・その場の役に立つこと。
- ・笑顔で行う。
- ・保育士のしていることを知る。
- ・楽しくすること。
- ・体調に気を付け、ケガをしない。
- ・園児が安全に楽しく過ごせるようにサポートする。
- ・子どもたちを楽しませれるように笑顔を絶やさない。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・園児と一緒に遊んで、会話できたこと。
- ・子どもたちの笑顔がすごくかわいかった。
- ・子どもたちの元気の良さ。
- ・ピザ作りが印象に残った。
- ・プール遊び。
- ・壁に飾ってある画用紙の絵を作ったこと。

【たんぽぽ会】

■活動をする前の思い

(選んだ理由)

- ・少しでも貢献したかったから。

(活動先で頑張ること)

- ・笑顔でいること。
- ・自分からコミュニケーションをとること。
- ・事前研修会で学んだことを活かすこと。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・年齢の差を越えて楽しくコミュニケーションをとることができたこと。

【社会福祉協議会】

■活動をする前の思い

(選んだ理由)

- ・協議会について知りたかったから。
- ・高梁市が福祉についてどんな取り組みをしているのか気になったから。
- ・みんなの役に立ち、地域の人と交流したいから。

(活動先で頑張ること)

- ・自分から考えて行動すること。
- ・その場の役に立つこと。
- ・あいさつを欠かさないこと。
- ・挨拶をして、大きな声で動く。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・地域の状態や仕事によってとても大変な所があるということ。
- ・地域の人達と関わるのはとても大切だということ。

【高梁市手話ボランティアの会】

■活動をする前の思い

(選んだ理由)

- 手話を覚えて、手話で人の世話をしてあげたいと思ったから。
- 声で会話する方法以外での会話をしてみたかったから。
- 手話を学び、コミュニケーションをしたいと思ったから。
- 手話の経験があり、もっと学びを深めたいと思ったから。
- 手話を覚え、将来に役立てたい。
- 使える言語を増やすことでより多くの人と関わることができるから。
- 言葉というものを深めたいと思ったから。

(活動先で頑張ること)

- 利用者さんとの関わり（笑顔を絶やさないと、挨拶をしっかりとすること）
- 何かに挑戦する気持ち。
- 積極的に自分から行動できるように頑張りたい。
- 普段できないので、貴重な体験を大切にしたい。
- 手話を覚え、活動先の利用者様と手話で会話をする。
- 身の回りの物を手話で表現できるようになる。
- 自分の知らない単語を1つ、2つとたくさん増やしていく。
- しっかり手話を自分のものにして、もし、ろう者の方にあつた時に話ができるようにしたい。
- 日常で使える手話を1つでも覚えること。
- 手話を使って、ほかの学校の人とも話すことができるようになりたい。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- 聴覚障害を持っている方のお話を聞けたこと。
- 聴覚障害者の日常生活での大変さ。
- 手話をしっかり覚えたいとより強く思った。
- 岡山県で1番早く高梁市が手話言語条例を決めたこと。
- 同じ手話でもいろいろな意味があること。
- 手話で自己紹介をうまくできたこと。
- 手話を全く知らなかったけど、帰るころには少しできるようになったこと。
- 知らない中学校の人や手話ボランティアの会の人と手話をして楽しめたこと。
- 手話で会話をして、お互いを知れたこと。

【おとづれ会】

■活動をする前の思い

（選んだ理由）

- 高齢者の人達と交流したかったから。
- 高齢者の方と話をしてみたかった。

（活動先で頑張ること）

- たくさんの人と交流を深めて楽しい1日にしたいです。
- やさしい気持ちでお年寄りに接する。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- おとづれ会に来た人たちと一緒に料理を食べたこと。
- たくさんのことを学ぶことができた。

【うかん気楽会】

■活動をする前の思い

（選んだ理由）

- 地元の方とふれあいながら過ごしたいから。
- 高齢の方と関わりたいから。
- 高齢者と交流したいから。

（活動先で頑張ること）

- 高齢者との会話やゲーム。
- 笑顔。
- 挨拶や交流。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- 利用者さんとの会話。
- ボランティアの人たちと話をしたり、料理を作ったりしたこと。

【有漢こども園】

■活動をする前の思い

(選んだ理由)

- ・保育士という職業に興味があるから。
- ・小さな子どもたちとの交流をしたいと思ったから。
- ・知り合いの小さい子がいると聞いたから。

(活動先で頑張ること)

- ・コミュニケーション
- ・保育士という職業を近くで見て、将来の見通しを持つこと。
- ・施設の役にしっかり立てれるようにしたいです。
- ・子供を保育する大変さを学ぶ。
- ・子どもたちとたくさんふれあって、仲良くすること。
- ・あいさつなど。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・子どものお世話です。
- ・子どもたちがお昼寝をしている時は掃除などをして、空いている時間を活用していたこと。
- ・園児のみんなとたくさんふれあったり、遊んだりしたこと。
- ・子どもたちと触れ合う上で喧嘩やもめ事が多々あった時、先生方のそれぞれのクラスに合わせた解決の仕方が印象的だった。

【まつうらクリニック むつみの園】

■活動をする前の思い

(選んだ理由)

- ・他の人との関係を深めるため。
- ・職場体験学習で来たことがあったから。

(活動先で頑張ること)

- お年を召された方への対応を気を付け、笑顔を忘れない。
- 学んだことを忘れない。
- 笑顔で楽しく利用者の方とコミュニケーションを取りたい。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- 利用者の方と楽しく笑顔で話が出来たこと。
- 利用者さんが笑顔になってくれたこと。
- 利用者さんと話すことで、日常的な話や戦争のことについて知ることができたこと。
- 手話ボランティアの人たちは優しく、手話は難しいけど、楽しいこと。

【光憂庵】

■活動をする前の思い

(選んだ理由)

- 障害者などを支援している事業所に興味があったから。
- 障害を持たれている人と交流するため。

(活動先で頑張ること)

- 障害者などの人の生活や苦勞を理解したい。
- 交流を持つこと。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- 利用者さんと話をしたり、交流できたこと。
- 利用者さんと一緒に活動できたこと。

【かわかみ療護園】

■活動をする前の思い

(選んだ理由)

- 障害を持っている方の生活がどのようなものなのか体験してみたいから。
- 母親が働いているため、興味があった。
- 障害者の方と交流してみたかったから。

【活動先で頑張ること】

- ・施設を利用されている方と積極的に話をして、仲良くなる。
- ・スタッフの方の仕事が少しでも楽になるように自分から仕事を探して、頑張る。
- ・利用者さんとの関わり（笑顔を絶やさない、挨拶をしっかりすること）
- ・何かに挑戦する気持ち、あきらめないこと。
- ・なかなか障害者の方と交流する機会はないので、この交流を通して障害について知り、将来に役立てれるようにしっかり学びたい。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・利用者さんとオセロをして全敗したこと。そのあと利用者さんがお礼におかしをくれてうれしかったこと。

【川上こども園】

■活動をする前の思い

【選んだ理由】

- ・子どもたちと遊ぶことが好きだから。
- ・夢が保育士なので体験してみたかった。
- ・小さい子のお世話が好き、弟や妹のお世話に役立てれるから。

【活動先で頑張ること】

- ・子どもたちとコミュニケーションをとる。
- ・みんなに優しくすること。
- ・頼まれたことをきちんとやって進んで仕事ができるように頑張る。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・子どもたちと一緒に楽しく遊んだこと。
- ・たくさんコミュニケーションが取れた。

【グループホームやすらぎ荘】

■活動をする前の思い

(選んだ理由)

- ・高齢者の方たちと関わりたいから。

(活動先で頑張ること)

- ・やりなさいと言われたことは最後までやる。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・利用者の人達が出来ることを自分からしていておどろいた。

【富家学童保育】

■活動をする前の思い

(選んだ理由)

- ・子どもと関わりたいから。
- ・子供が好きだから。
- ・小学生ともっとたくさんふれあいたいから。
- ・小学生と関わることで、自分も成長できると思ったから。
- ・遊んでみたいから。
- ・将来小さい子と関係ある仕事につくかもしれないため、接し方や話し方の練習をしたいから。

(活動先で頑張ること)

- ・子どもたちと交流を深めること、仲良くなること。
- ・信頼できる人になること。
- ・笑顔で元気に挨拶する。
- ・一生懸命子供たちと触れ合うことが目標。
- ・困ったことがあったら、少しでも助けたい。
- ・学童の子に負けないくらい元気に過ごす。
- ・人見知りがあるため、自分から進んで話をして、少しでもいいから人見知りを直したい。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・富家の人達とたくさん遊んだりできた。
- ・子どもたち1人1人に個性や性格があって面白かった。
- ・夏祭りもとても楽しかった。

【高梁市立備中保育園】

■活動をする前の思い

(選んだ理由)

- ・近くだったから。
- ・園児たちと関わりたいから。

(活動先で頑張ること)

- ・言葉に気を付けて保育児と関わることを頑張りたい。
- ・やりなさいと言われたことは最後までやる。

■活動を終えての感想・印象に残ったこと

- ・みんなで協力して作業をしたこと。
- ・子どもと遊んだこと。

2023夏のボランティア体験事業報告書

※2023夏のボランティア体験事業報告書は、ホームページにも掲載しています。

HP：<http://www.takahashi-shakyo.org/>

(発行) 社会福祉法人高梁市社会福祉協議会

〒716-0029 高梁市向町 21-3

TEL：0866-22-7243 FAX：0866-22-0845

E-MAIL：yatosa@mx9.tiki.ne.jp